

「市民協働のまちづくり」 協働提案事業を 紹介します

☎ 市民協働課 ☎ (25) 8526

市では、市民と行政が良きパートナーとなって連携し、共に育ち合う関係を「協働」と捉え、市民協働によるまちづくりを推進しています。市民協働のまちづくりとして、地域の課題解決や新しいニーズに対応するための協働提案事業を実施しています。
今回は、本年度に実施している3事業を紹介します。

令和5年度
実施事業

協働提案事業を

募集します

協働提案事業は、まちづくり活動や福祉、子育て、環境などの地域課題について、市民活動団体から協働提案事業の企画提案を募集し、関係する市の所管課と協働で取り組む事業です。

▼募集する提案事業

- ① 市民提案型 自由な発想でテーマを設定してください。
- ② 行政提案型 提示したテーマに対して提案してください。
- ▼市の負担額上限額 50万円
- ※補助金の割合や対象経費に制限があります。

▼応募説明会

10月12日(木) 19時～20時

市役所新館

▼提案参加表明締切

11月1日(日)

要件、対象経費など詳しくは、市のホームページをご覧ください。



新規事業

行政提案型
高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及事業

▼事業者

FEC自給圏ネットワーク

▼担当課

環境政策課

▼事業目的

脱炭素社会に向けて温室効果ガスの削減のため、市と市民が、再生可能エネルギーの役割、太陽光発電設置のメリットなどを学び、理解を深め、再生可能エネルギーの普及を目指し貢献します。一部の環境団体や特定の個人が行うのではなく、あらゆる人々が普通に暮らし、実現できる社会だからこそ、今回の事業でそのシステムの構築を目指します。



継続事業

行政提案型
安心な移住定住への橋渡し役を担う「関係案内所ポトポト」整備事業

▼事業者

大溝の水辺景観まちづくり協議会

▼担当課

市民協働課定住推進室

▼事業目的

「観光」から「移住」までのサポートを行い、市民の協力者と市の定住相談窓口が連携し、移住希望者を「安心な移住定住」へ橋渡しする仕組みづくりを目指します。市民団体と市が一体感を持って取り組むことにより、市が移住者の受け入れに前向きなまちであるPRや移住希望者にとって安心して相談できる体制の構築を目指します。



継続事業

市民提案型
小地域協働型住民支援事業

▼事業者

しずさと紡ぐ会

▼担当課

市民協働課

▼事業目的

コミュニティカフェやワンコインカフェを開催し、気軽に集まれる場所の提供を行い、地域で互いに助け合える関係づくりを目指します。また、見守り、ふれあい、防災など区民が生活に必要な事業、高齢者への寄り添い、子育て世代への支援、子どもたちの見守りなど向こう3軒両隣の顔の見える関係づくりを実現していきます。



▼事業内容

- ① 再生可能エネルギーのメリット、デメリットの共有やワークショップ・講演会の開催
- ② 身近な省エネルギーに関する地域課題の共有
- ③ 太陽光発電システムの先進地域の見学、講演会の開催
- ④ 市民グループ、事務所などへの太陽光発電システムの設置の呼びかけ

▼事業者の役割

- ① ワークショップの開催
- ② 講演会の企画・開催
- ③ 太陽光発電システムの普及のチラシづくりとそのPR
- ▼市の役割
- ① 企画内容への情報提供、アドバイス
- ② 講演会開催の広報



▼事業内容

- ① 関係案内所ポトポトの運営（移住などの相談の受け入れ、出張相談会の開催、移住希望者対象のワークショップの開催）
- ② potopotoパートナー（移住に近い目的の来訪者を対象にした協力者）やpotopotoフル（観光に近い目的の来訪者を対象にした協力者）の発掘

▼事業者の役割

- ① 関係案内所ポトポトの整備
- ② 事業協力者と連絡調整、意見交換
- ▼市の役割
- ① 移住・空き家活用相談の対応
- ② ホームページ作成
- ③ 出張移住相談会の実施



▼事業内容

- ① 子ども支援(子ども食堂の開催)
- ② ふれあい事業(コミュニティカフェ、ワンコインカフェの実施)
- ③ 啓発、ボランティア活動(会館清掃などを通じた関係づくり)
- ④ 防災ネットワークの結成(防災意識や避難行動などの共有)

▼事業者の役割

- ① 防災ネットワークによる区内周知、とりまとめ
- ② 本会活動が他の区・自治会のモデルとなるよう紹介
- ▼市の役割
- ① 防災ノウハウの伝授
- ② 区長会などで活動紹介、他団体の情報提供

